



TCU-COM

p01 後援会副会長挨拶

p02 平成25年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p05 平成25年度 就職動向と支援

p09 キャンパスSpot⑩

p11 クラブ活動紹介⑳

p17 Campus Topics

p19 平成25年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

知らないことは知らないと言える 技術者になりなさい。

「いくつになっても、知らないことは知らないと言える技術者になりなさい。」恩師の教えのひとつとして、30年たった今でも折に触れ思い出す大事な言葉であり、次世代を担う皆さんにも是非受け継いで頂きたいと思う言葉である。

これを聞いた当初は、技術への誠実さを説く教えだと字句通りに解釈し、その実践にも不安は感じなかった。しかし、社会人となり後輩や部下が増えるに従い、7割しか理解できていないのにすべて知っているように装ったり、曖昧な回答で煙に巻いたりする誘惑を感じるようになる。そしてようやく、技術に真摯であれと諭す言葉の奥に込められた、第2、第3の教えに気付くのである。

その第2の教えは、技術者たるもの一生涯勉強を続けなさい、と言うこと。同じことを2度、3度と重ねて聞き難いのが人の常。そうなる前に教わったことをきちんと身につけ、成長すること。技術者に限らず大事な教えである。

第3の教えは、人よりも詳しい分野を築きなさい、と言うこと。専門家としての自負があれば、それ以外のことについては、まるで子供のように「知らないから教えて攻撃」を繰り返せる。道を究めた人にだけ許される特権である。

そして、私が意識している最後の教えは、確実なことと生半可なことをきちんと区分しなさい、と言うこと。しかし「想定外」を持ち出すまでもなく、技術が複雑化する中では簡単なことではなく、確実な実践方法はまだ見つけられていない。一生涯、勉強である。

先生や友人に囲まれた学生時代ほど、知らないことを知らないと言い易い時はない。その好機を十分活用し、あなたならではの才能と知識を最大限伸ばしてほしい。その分野はスポーツでもお笑いでも、人に役立つものなら何でも良いが、技術屋の先輩としては、できるなら技術分野で究めて欲しいと願う。そして後援会も、より上手にそのお手伝いができるよう、勉強と工夫を重ねたい。教職員諸氏の暖かいお導きと、学生諸君からの前向きな「教えて攻撃」をお願いしたい。



東京都市大学
後援会副会長

高草 智



平成25年度

「大学と保護者との連絡会」

取材レポート

取材担当：京都市大学新聞会



ご好評いただいている「大学と保護者との連絡会」が後援会と大学の共催により全国各地で実施されました。平成25年度は、10月19日(土)に行われた世田谷、横浜、等々力の3キャンパスにおける連絡会をもって全てのスケジュールを無事に終了。3キャンパスでの連絡会に参加された保護者の皆様の感想などをまじえ、当日の様子をご紹介します。

「大学と保護者との連絡会」は、学生指導に深く関わる教職員が全国各地の会場に出向き、大学の現況や学生生活の様子、最新の就職状況などを説明するとともに、保護者の方々からの疑問・質問に回答する、双方向の“連絡会”です。

平成25年度は、全20会場での開催となり、10月19日、世田谷、横浜、等々力3キャンパスでの連絡会で掉尾を飾りました。当日の東京・横浜地区は、それまでとは違って風が冷たく肌寒い一日となりましたが、世田谷に約1,120名、横浜に約420名、等々力には約190名もの保護者の皆様にご参集くださり、熱気溢れた連絡会となりました。今年度は午前と午後に分けて開催し、学部ごとに説明会を実施。保護者からは「子どもの学部に関する内容に特化しており、密度の濃い説明が聞けた」とご好評の声をいただいております。

世田谷キャンパス

学科ごとの丁寧な説明会を実施 保護者最大の関心事は就職・進学の現況

世田谷キャンパスでは、知識工学部が午前9時30分から、工学部が午後0時30分から受付を開始。その後、約1時間にわたって、学科の主任教授、教務担当教員、クラス担任教員らによる各学科説明会が行われ、学科の特色と、就職・進学動向、単位取得や大学院進学を目安などの学修面、インターンシップや企業へのアプローチといった就職サポートの現況などが報告されまし



今年も数多くの保護者が参加(世田谷)



熱気に包まれた学科説明会場(世田谷)



スクリーンを使って分かりやすく解説(世田谷)

た。たとえば、知識工学部情報通信工学科(情報ネットワーク工学科)では、はじめに佐和橋主任教授が「当学科は、ハードとソフトの両面から情報通信技術を学びます。加えて、システムの思考、多角的な視野、バランスの取れた人格を育てるためのカリキュラムを実践しています。またクラス担任に加えてアカデミックアドバイザーを4名配するなど、手厚い学修・研究支援体制を構築しています」と、学科の特色を紹介。さらに就職面を担当する宇谷教授らが「就活を円滑に進める学生は学業にも熱心。当学科の学生は学習意欲が高く、就職先は大手企業が多い」などと語りました。保護者にとって最大の関心事である就職・進学についての説明に対して、熱心にメモを取る姿が見られました。約30分の休憩を経て、学年別説明と懇談会を実施。さらに希望者に対する個人面談も行われました。

横浜キャンパス

新設2学部ではそれぞれの特色を分かりやすく紹介 従来の環境情報学部では就職面での説明を重視

2013年度から環境学部とメディア情報学部が加わった横浜キャンパス。このため、午前中には環境学部とメディア情報学部の新設2学部1年生の保護者向け説明会を、午後には2年生以上が在籍する



環境学部の学部説明会(横浜)

環境情報学部の保護者向け説明会を実施しました。環境学部の学部・学科説明会は午前10時にスタート。吉崎学部長は、「これまでは環境と情報という2つのキーワードを一つに融合していたが、情報化と環境とが一層顕著に先鋭化したため、より専門性の高い学部構成とすることとした」と、環境

学部、メディア情報学部の2学部を新設した意図を説明しました。重ねて、フレッシュャーズ・キャンプや、スポーツ大会、環境志向の高い横浜祭、たけのご掘りなど、横浜キャンパスの恒例行事を画像で分かりやすく紹介。少し緊張気味だった保護者の表情がほころび、熱心にスクリーンを見つめていました。室田教務委員長は、「1、2年生のうちにコミュニケーション力と基礎力を身につけ、3年生以降は問題解決力、グループワーク力、創造力を養いたい」と、学びの目標を提示。「日本の大学生は勉強をしないと言われている。自学自習を毎日4時間はすべき」と忠告しました。さらにキャリアサポートを担当する伊坪教授が、「学生アンケートでは、就職に有利だからこの大学を選んだという声が多い。就職への意識が高いと学修のモチベーションもあがる」と話すと、大きく頷く保護者の姿が多く見られました。

同じく午前10時に開始したメディア情報学部の学部・学科説明会でも、中村雅子学部長らにより、社会科学の方法論に軸足を置いた社会メディア学科と、コンピュータシステムデザインに軸足を置いた情報システム学科の特色や、きめ細かい支援体制について紹介されました。

また、午後から行われた環境情報学部の説明会では、2年生以上の保護者を対象としているため、主に就職や進学など将来の話が重点的に語られました。



学年別懇談会(横浜)

等々力キャンパス

大学院修士課程を設置した都市生活学科
海外教育研修の充実度を高める児童学科

都市生活学部と人間科学部を擁する等々力キャンパスでは、午後0時30分から受付を始め、午後1時から両学部の説明会をスタート。都市生活学部では、少人数制のきめ細かい教育を行っていることや、良好だった就職実績、2013年度より大学院環境情報学研究科の中に都市生活学専攻(修士課程)が設置されたことなどが紹介されました。人間科学部では、東京都市大学二子幼稚園での運動会や農業体験への参加などの幼大連携、今年度からオーストラリアでの幼児教育研



人間科学部の学部説明会(等々力)

修が始まったこと、来年度にはニュージーランドでの研修も行われること、学業や就職、友人関係など様々な悩みに対するカウンセリング体制を充実させていることなどが説明されました。また、自宅に郵送される成績表をしっかりと保護者も確認するよう注意を促していました。説明会終了後は、両学部とも、個人面談を受けるために保護者が列を作り、子どもたちが学ぶキャンパス内を興味深げに散策したり、学食を利用する保護者の姿も数多く見られました。

なお、今年度、全国の連絡会へのご参加は全1673世帯。来年も多くの方々のご参加をお願いいたします。

高崎会場

実感した本学への関心の高さ

世田谷キャンパス学生支援センター 岩田 優

平成25年度「大学と保護者との連絡会」高崎会場を、平成25年9月7日(土)午前10時より、ホテルメトロポリタン高崎にて開催いたしました。当日は、17世帯22名の保護者の方々にご出席いただきました。

本連絡会では、当日配付しました冊子とともにパワーポイントによるスライドを用いて説明を行いました。その内容は、本学の近況として北澤宏一新学長の就任や大学院環境情報学研究科都市生活学専攻開設などをご紹介しました。続いて、学生生活として学内行事を説明し、また、教務関係として成績通知書の見方や進級条件、卒業要件や大学院進学について説明し、最後に、就職状況や本学における就職支援体制について説明しました。保護者の方々は、それぞれの内容について熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

その後の質疑応答では、「英語教育の内容」「大学院進学の特典」等についてのご質問があり、より詳しい説明を行うことができました。また、全体会終了後には希望者を対象として個別面談を行いました。約2時間の本連絡会でしたが、多くの保護者の方々にご参加いただき、本学の取り組みや、キャンパスライフについて理解していただくよい機会となったのではないかと思います。また、保護者の方々の本学への関心の高さを実感しました。



参加された保護者の方々の感想

世田谷キャンパス



エネルギー化学科 1年
長田 直樹君のご両親

子どもとじっくり話す機会が持てないので、先生方からいろいろと具体的な情報を得られて良かったです。



機械システム工学科 1年
小西 創一郎君のご両親

単位取得のシステムや、就職に強いことがよく分かりました。先生たちがとても熱心なので安心しました。



建築学科 2年
米田 勇気君のご両親

昨年も参加しました。今年は学科に特化していたので、学業や学生生活、就職面の細かいところまで分かりました。



建築学科 3年
大澤 弘明君のお母さん

教授陣の層が厚いし、各種サポート体制も良好でとても面倒見が良いですね。あとは本人のやる気に期待します。



自然科学科 2年
徳永 孝太君のご両親

授業の内容を知り、面白いことを習っているなど思いました。近くに川があるなど、周辺環境も良いですね。



経営システム工学科 3年
小野 謙太郎君のお母さん

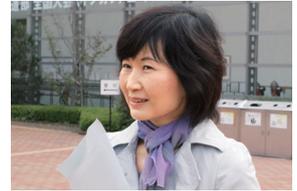
やはり最大の関心事は子どもの進路。近年ずっと厳しい状況が続いている就職環境について伺ってきました。

横浜キャンパス



社会メディア学科 1年
本多 由樹さんのご両親

学生時代にしかできないことに力を注いでほしいと思います。勉強はもちろん、課外活動や友人関係も大切ですね。



情報システム学科 1年
小池 英樹君のお母さん

大学の雰囲気や研究室のことなどを知りたくてまいりました。洒落なキャンパスに好感を持ちました。



環境創生学科 1年
竹田 理沙さんのご両親

カリキュラムなど教育内容を詳しく知りたかったので参加しました。資格取得支援などに関して詳しく聞きました。



環境創生学科 1年
高木 甫君のお父さん

この新設学部でどんな新しいことを扱っていくのか、大学での学びがどう社会と繋がるのか興味があります。



情報メディア学科 3年
塚原 啓君のお父さん

毎年参加しています。今回は就職の現状や就職活動の様子、進路の絞り込み方について確認に来ました。



環境マネジメント学科 1年
横山 聖弥君のご両親

環境マネジメントが、幅広い学問領域を積み重ねて専門性を高めるものだと知って、感銘を受けました。

等々力キャンパス



児童学科 2年
久野 千佳さんのお母さん

海外研修に興味があったので参加しました。その内容や現地での生活を丁寧に説明してもらい、よく理解できました。



児童学科 1年
池田 望さんのご両親

1年生だからわからないことが多かったが、2、3年次の活動がどのようなものか把握することができました。



都市生活学科 2年
稲福 友佑君のお姉さんとお母さん

新しい学科だったので色々不安もありましたが、豊富なデータで分かりやすく説明してもらい安堵しました。



都市生活学科 2年
田中 陽麻君のご両親

学科の担当教員を全員紹介してもらったことや、個別面談を通して担任と話せる機会があって良かったです。

平成25年度 就職動向と支援

1 なお厳しい就職環境

「景気は上向きに推移している」ということが、さまざまな経済指標に基づいて昨今言われ始めていますが、平成25年3月卒学生の就職環境を、新卒求人倍率(リクルートワークス研究所調べ)で見ると、前年とほぼ同じ1.28倍で(前年1.27倍)決して大きく改善しているとまでは言える状況ではありませんでした。

また、本学に限らず、今年度の全体的な傾向として、複数の内定を取得する学生と、なかなか一つの内定を獲得することができない学生との二極化が、例年以上に大きくなっているとも言われています。

学生が内定を獲得するためには、「(基礎力+専門力)×就職活動力」を高めることが大切であるとの認識を、本学のキャリア関連担当者は共有しています。

これは、何も低学年時から面接や応募書類作成、筆記試験対策などの実践的な「就職活動力」を高める施策を性急に行うべき、ということではありません。たとえば低学年時には、「基礎力」向上のための授業や課外活動を重視しながら、キャリアへの意識を醸成するための授業やガイダンスを実施し、加えてインターンシップなどへの参加が効果的であることを伝えていきます。さらに学年が上がってからは、全員を研究室に配属するという本学の特色を生かして「専門力」の獲得を意識するように促します。こうして就職活動を迎える時期になると、就職指導の専門家が設計した「就職活動力」を高めるプログラムを多数開催するわけです。こうしたプログラムに積極的に参加しながら、段階的にスキルを身につけていった学生は、その多くが良い結果を残しています。

保護者の皆様からは、学生生活の充実のため、また就職活動を円滑に進めるためにも、キャリア関連のイベントに積極的に出席するようにお話くださいましたら幸いです。

2 本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を世田谷・横浜・等々力の各キャンパスに設置しております。

それぞれのキャリア支援センターでは専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての確かなアドバイスを実施。常駐しているスタッフの多くがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関わることはどんなことでも安心してご相談いただけます。ここではまた、

卒業生や先輩学生による密度の高い情報提供をはじめ、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に用意しております。

各学科では就職担当教員がキャリア支援センターと連携して強力で学生をバックアップし、それぞれの学科の強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。就職支援行事は学内で実施するものだけで100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会を設けております。さらに本学の前身である武蔵工業大学時代からの伝統として、「社会で活躍する卒業生」よりご協力をいただき、学部・学科ごとの企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えています。

もちろん就職に関する個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い指導をしています。

また、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索できるシステムを構築することなどにより、内定獲得を目指す学生を強力で支援しています。

3 今年度の状況

文部科学省発表の2013年10月時点での内定率は「64.3%」であり、これに対して、本学では10月時点の決定率が約8割となっております。人間科学部の保育業界希望者が、これから選考のピークを迎えることを勘案すると、全国平均に比べて十分健闘をしているものと考えます。もちろん本学としましては、まだ活動を継続している学生に対する支援を最優先と考え、これからも学内での企業セミナーや継続して求人をしている企業の情報を収集し一層の就職活動の支援を積極的に推進してまいります。

これからの時期、就職活動学生の「モチベーションの維持」「活動し続ける姿勢」が重要なポイントになります。キャリア支援センターには、まだ多数の求人情報がありますので、ぜひセンターを活用されるよう、学生ご本人にお伝えください。

4 最後に

学生の進路に関する意識が多様化し、依然として厳しい就職環境に対応すべく、今後ますます就職支援、進学を含めたキャリア支援業務に注力してまいりますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



平成25年度 主な就職内定先企業等 (平成25年12月1日現在)

※数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院工学研究科

■輸送用機器	東芝ソリューション	1
トヨタ自動車	日立システムズ	1
スズキ	PFU	1
スタンレー電気	■運輸	
ヤマハ発動機	JR東日本	9
いすゞ自動車	JR東海	4
三菱自動車	東京急行電鉄	1
日産自動車	東京メトロ	1
富士重工業	■建設	
■電気機器・精密機械	大成建設	6
富士通	大林組	6
パイオニア	東急建設	5
日本電気	大和ハウス工業	4
アズビル	清水建設	3
日立製作所	竹中工務店	2
三菱電機	鹿島建設	1
リコー	■その他	
東芝	東京都庁	10
キヤノン	横浜市役所	3
京セラ	静岡県庁	2
シャープ	川崎市役所	2
日本アイ・ビー・エム	日本郵政	1
沖電気工業	東京電力	3
富士電機	関西電力	1
コニカミノルタ	関電工	2
■情報通信サービス	凸版印刷	4
NECソフト	大日本印刷	1
NTTデータ	テルモ	1
富士通エフサス	LIXIL	1
カブコン		1

環境情報学部・大学院環境情報学研究科

■製造業	パスコ	1
日立製作所	オリエンタルコンサルタンツ	1
富士通	東急リパブル	2
日本電気	積水ハウス	3
沖電気工業	大和ハウス工業	2
ライオン	一条工務店	2
アルファ	住友林業	1
■情報通信サービス	永大産業	2
NSD	立川ブラインド工業	1
JSOL	■小売	
DTS	セブンイレブン・ジャパン	2
インフォメーションテクノロジー	イオンリテール	1
日立ソリューションズ	東急ストア	1
富士ソフト	■金融	
NECソフト	東京スター銀行	2
京セラコミュニケーションシステム	山梨中央銀行	1
みずほ情報総研	神奈川銀行	1
東芝ソリューション	横浜信用金庫	1
NECネットエスアイ	東急カード	2
大塚商会	大和リース	1
日本総合研究所	日本生命保険	1
■運輸	■公務	
JR東日本	警視庁	2
小田急電鉄	神奈川県警	1
東京メトロ	平塚市役所	1
東急バス	■その他	
セコム	セコム	3
■建設・不動産・住宅	日本放送協会	1
高砂熱学工業		1
九電工		1

都市生活学部・人間科学部

■建設・不動産・住宅	クリーク・アンド・リバー社	1
大和ハウス工業	■卸売・小売	
三井不動産ビルマネジメント	三陽商会	1
三井不動産リアルティ	ホンダトレーディング	1
三井不動産ファシリティーズ	ユナイテッドアローズ	1
東急リパブル	サマサカ/サザンパブリック	1
スターツコーポレーション	ファイブフォックス	1
鹿島建物総合管理	赤ちゃん本舗	1
住商建物	東京スバル	1
NECファシリティーズ	トヨタ部品東京共販	1
電通ワークス	■金融	
日立アーバンインベストメント	三菱UFJ信託銀行	1
小田急ビルサービス	SMBCフレンド証券	1
■ティベロップ	明治安田生命保険	1
東急不動産	日産フィナンシャルサービス	1
パーク24	美濃信用金庫	1
丹青モルズマネジメント	三島信用金庫	1
駐車場総合研究所	J.A.よこすか葉山	1
■住宅設備機器	■公務	
LIXIL	世田谷区役所	2
YKK AP	渋谷区役所	1
パナソニックホームエンジニアリング	葛飾区役所	1
三菱電機照明	船橋市役所	1
トッパンコスモ	湯沢町役場	1
■運輸・旅行・広告	■幼稚園・保育園等	
JR東日本	幼稚園	23
大和自動車交通	保育園	24
名鉄観光	■その他	
近畿日本ツーリスト個人旅行販売	東京都社会福祉事業団	1
旅工房	川崎市社会福祉事業団	2
東急リゾートサービス	一般財団法人ベターリビング	1
博報堂プロダクツ	スタジオアリス	1

採用活動・進学スケジュール(例)

※平成28年3月卒業予定者からはスケジュールが変更になります。

学部3年生 / 修士1年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活支援	●自己分析 ●業界・企業研究 ●インターンシップ											
企業			就職ナビレオナー	説明会セミナー	インターンシップ				就職ナビ グランドオープン	●エントリー ●会社説明会・セミナー		●採用試験
公務員											公告 国家公務員	公告 地方公務員
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

学部4年生 / 修士2年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活支援	●自己分析 ●業界・企業研究											
企業	●エントリー ●会社説明会・セミナー ●採用試験 10月以降も継続して採用を行っている企業があります。 内定を獲得するまで粘り強く取り組みましょう。											
公務員	受付期間 国家公務員	1次試験	2次試験	最終合格								
	受付期間 地方公務員	1次試験	2次試験	3次試験	最終合格							
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試 (A日程) 願書提出/試験			大学院一般入試 (B日程) 願書提出/試験						大学院一般入試 (C日程) 願書提出/試験		

本学のキャリア支援スケジュール

●キャリア支援とは、就職、進学など卒業後の進路決定の支援や、将来のために役立つ準備を行う機会や情報の提供などを行うことと考えています。

世田谷キャンパス (SC) キャリア支援	1年生	2年生	3年生							
	技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかりと頑張ろう!		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
			技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)							
就職支援プログラム	4月: ・キャリアガイダンス ・自己発見レポート ・自己発見レポートのフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオ	4月: ・キャリアガイダンス ・自己プロGRESSレポート ・自己プロGRESSレポートのフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオ	就活基礎力養成 ・就活入門ガイダンス ・就職ガイダンス ・就職セミナー ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス ・業界研究会 ・マナー講座			公務員対策 いざ!本番に向けて、本エントリー攻略 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・就職ガイダンス(Uターンガイダンス含む) ・進路適性検査(キャリアアプローチ) ・就職セミナー ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI模試 ・面接グループディスカッション対策講座 ・内定者懇談会 ・業界研究会 ・マナー講座				
	5月/6月: インターンシップ対策講座	5月/6月: インターンシップ対策講座								
実践直結プログラム	8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加	8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加								
	9月: ・キャリアポートフォリオ	9月: ・キャリアポートフォリオ								
就職支援プログラムには全学年参加可能です。										
キャリアアップ講座(全学年対象となります):5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他										

横浜キャンパス (YC) キャリア支援	1年生	2年生	3年生							
	進路・勉強方法を考える		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
			着実に就活力をつけていくための基礎力講座<履歴書・ES対策>							
就職支援プログラム	4月: ・キャリアガイダンス ・自己発見レポート ・自己発見レポートのフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオ	4月: ・キャリアガイダンス ・自己プロGRESSレポート ・自己プロGRESSレポートのフォローアップガイダンス ・キャリアポートフォリオ	就活基礎力養成 ・職業適性検査 ・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・マナー講座		仕事・企業を知る ・質問力養成講座 ・業界、会社の選び方		本エントリー攻略 ・文章力強化講座(全5回) ・進路適性検査(キャリアアプローチ)		企業のダイナミズムを知る ・業界研究会 ・内定者懇談会 ・筆記対策(SPI,CAB,GAB)	
	5月/6月: インターンシップ対策講座	5月/6月: インターンシップ対策講座								
実践直結プログラム	8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加	8月/9月: インターンシップ等に積極的に参加								
	9月~: ・キャリアポートフォリオ ・キャリアデザイン基礎	9月~: ・キャリアポートフォリオ ・キャリアデザイン	公務員講座 ・全学年対象 SPI対策も同時開催		進路個人面談 ・3年生全員対象 1人1人の進路に合わせて進路希望登録書による個別指導					
就職支援プログラムには全学年参加可能です。										
キャリアアップ講座(全学年対象となります):5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他										

等々力キャンパス (TC) キャリア支援	1年生	2年生	3年生							
	授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
			社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!							
就職支援プログラム	4月: 自己発見レポート	4月: 自己プロGRESSレポート	就活基礎力養成 ・キャリアデザイン(3)(都市生活学部) ・就活入門ガイダンス ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説/TOEIC				公務員対策 ・特別講義 ・就職講演会 ・業界研究会/企業研究		公務員対策 いざ!本番に向けて!本エントリー攻略 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・キャリアデザイン(4)(都市生活学部) ・就職ガイダンス ・進路適性検査(キャリアアプローチ) ・就職講演会 ・就職セミナー/TOEIC ・履歴書・エントリーシート対策講座 ・SPI集中対策	
	4月/9月: キャリアポートフォリオ(フレッシュアーズゼミと連動)	4月/9月/12月: キャリアポートフォリオ(キャリアデザイン1・2と連動)								
実践直結プログラム	7月: インターンシップガイダンス	7月: インターンシップガイダンス					資格・TOEIC ・各種資格対策講座 ・TOEIC対策講座		進路個人面談 ・3年生全員対象 ・進路に合わせて個別指導 ・進路相談カード	
	8月/9月: インターンシップ、ボランティア等に、積極的に参加	8月/9月: インターンシップ、ボランティア等に、積極的に参加								
就職支援プログラムには全学年参加可能です。										
キャリアアップ講座(全学年対象となります):5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他										



※対象は平成26、27年3月卒業予定者となっており、平成28年3月卒業予定者からはスケジュールが変更になります。

3 年 生					4 年 生												
12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
					今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)							内定獲得まで諦めない支援					
最終総仕上げ		公務員対策			進路相談強化					個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・エントリーシート対策 筆記対策(SPI一般常識) 面接・グループディスカッション個別対策 		<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験模擬試験 面接カード記入ガイダンス 			<ul style="list-style-type: none"> 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路面談カードを有効活用し、志望・適正に応じた求人紹介を徹底的に行います。 							
模擬面接&グループディスカッション講座		進路個人面談															
<ul style="list-style-type: none"> 採用コンサルタントによる徹底講座 		<ul style="list-style-type: none"> 3年生全員対象 学校推薦対象者決定 大学院進学希望調査 															
企業研究会					企業研究会												
<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 採用継続中の優良企業をお招きして学内において説明会を行います(月1回程度)。 												

3 年 生					4 年 生												
12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
					徹底的な書く・話すチカラの強化…個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>							内定獲得まで諦めない支援					
最終総仕上げ		公務員対策			進路相談強化					個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・エントリーシート対策 面接対策 グループディスカッション対策 		<ul style="list-style-type: none"> 公務員試験対策講座(集中講座) 公務員試験模擬試験 面接カード記入ガイダンス 			<ul style="list-style-type: none"> 進路面談カードを元に面談 求人紹介など内定直結型の支援を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 大学宛求人票と進路面談カードを有効活用し、志望・適正に応じた求人紹介を徹底的に行います。 							
実践対策講座		ハローワークとのジョイント															
<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッション・集団面接 内定直結ガイダンス ほか 		<ul style="list-style-type: none"> ハローワークの専門相談員が駐在 															
模擬面接&グループディスカッション講座																	
<ul style="list-style-type: none"> 採用コンサルタントによる徹底講座 																	
企業研究会					企業研究会												
<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 毎月実施 5~20社 個別企業説明会も開催 												

3 年 生					4 年 生												
12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
					トビラの向こうへ! 就職活動スタート!							内定獲得まで諦めない支援					
					保育業界採用スタート→												
いざ!本番に向けて!本エントリー攻略		公務員対策			進路相談強化					個別指導の徹底							
<ul style="list-style-type: none"> エントリーシート対策 面接対策各種集中指導 グループディスカッション対策 面接対策 		<ul style="list-style-type: none"> 各種公務員試験対策講座(集中講座) 			<ul style="list-style-type: none"> 履歴書・就職セミナー・就職講演会(人間科学部) エントリーシート/グループディスカッション/面接対策 採用情報提供 個別面談 					<ul style="list-style-type: none"> 個別面談 個別指導 キャリアカウンターで随時相談受付 							
模擬面接&グループディスカッション講座		進路個人面談															
<ul style="list-style-type: none"> 個別面談を中心として徹底指導 		<ul style="list-style-type: none"> 3年生全員 															
企業研究会					企業研究会												
<ul style="list-style-type: none"> 人事担当者、OB、OGをお招きして学内において説明会を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 学内企業説明会開催(随時) 世田谷キャンパス・横浜キャンパスと連携 												



世田谷キャンパス



建物の中央部は吹き抜けにして、天窓から落ちる自然光を地階まで取り込むよう設計



屋上に世田谷区内最大規模の出力40kWの太陽光発電パネルを設置



ゲリラ豪雨に備え、屋上には排水口のほかに、水抜き穴も設けました

絵で見るキャンパスSpot

新1号館 [第2期工事] 完成の巻

2010年末から進行してきた、世田谷キャンパスの再整備事業のひとつ新1号館建設工事。昨年12月にいよいよ第2期工事が完了し、1月から活用がスタートします。2012年末に第1期工事が終わって、学生支援施設を複合した総合教室棟として利用開始されていた南半分とも、地上4階、地下1階の各階でつながり、学びの場の至便性は一層充実しました。



取材:2013年12月・1月

旧1号館を2期に分けて建て替えた今工事では、教室や各種設備ともさまざまな先進機能を取り入れました。ホテルライクな最上階ラウンジをはじめ、学生同士やOB・OGが交流できる場を随所に設けたのも大きな特徴。また太陽光発電システムや自然通風システムの導入、自然光を取り込む設計、壁面緑化など、省エネルギー・長寿命をめざした環境配慮型の建築となっています。今後も世田谷キャンパス再整備事業は段階を追って続きます。ぜひご期待ください。

4F ラウンジ「オーク」・屋上テラス

落ち着いた空間はまるでホテルのよう

第2期工事では、4階に教員の研究室のほか、360㎡の広いラウンジ「オーク」と屋上テラスが完成します。厨房を備えたラウンジ「オーク」は教職員やOB・OG、保護者の方々もくつろいで過ごせる、ホテルのような落ち着いた空間のあるインテリア。学生もここで食事ができます。レセプションや発表会にも活用でき、立食パーティなら300人程度まで収容可能。また、植栽に囲まれた屋上テラスも、食事や歓談などに広くご利用いただけます。



大空間のラウンジ「オーク」には、90席の椅子を配置。可動タイプなので、撤去すれば立食パーティも開けます。3方向に窓があり、たいへん明るい空間となっています。お昼の利用は教職員が優先となる予定

屋上テラスにもテーブルと椅子を配置。周囲は高さのある樹木で囲むことで、近隣の視線をさえぎります



2、3階の中央ラウンジには、自動販売機が設置されています

2F・3F 学生ラウンジ

それぞれ特徴をもたせた家具を配置

2階と3階には、それぞれ3か所の学生ラウンジがあります。完成済みの南側ラウンジが、数人で集まれる比較的大きめのテーブルを置いているのに対し、北側ラウンジは1~2人掛け用の遮音性の高いハイバックソファを採用。中央ラウンジは掲示物や映像による情報コーナーも兼ねる予定です。



2階と3階の北側ラウンジ。ハイバックソファが周囲の音をさえぎり、集中できます





B1F 学生ラウンジ(オープンスペース)

上からの光が落ちる、吹き抜けの広場

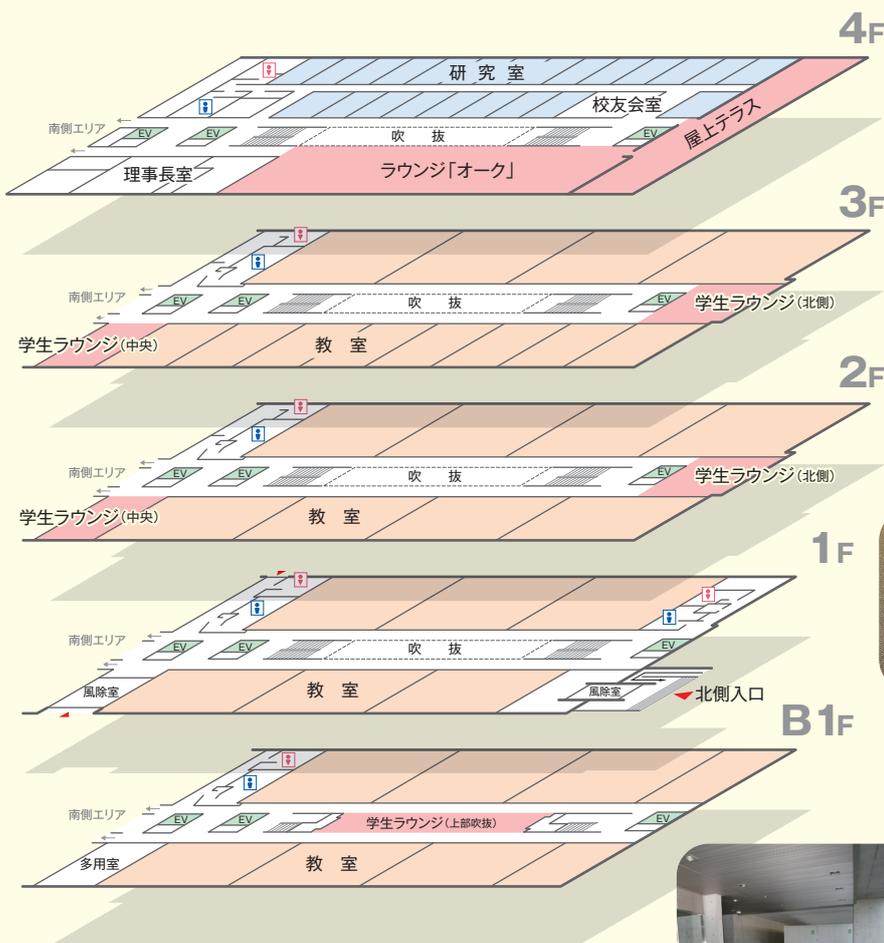
北側地階には、中央に吹き抜けの広い空間があります。ここでは、上からの明るい光が届く学生広場。企業や教員、学生の発表を聞いたり、コンサートを開いたり、イベントのない時はソファやテーブルを並べて、学生ラウンジや展示スペースとして活用することも可能です。



イベントイメージ

ソファ

ハイテーブル・チェア



B1F~3F 教室

PC対応や防音など多彩な教室

1階、3階、地階の教室は椅子とテーブルが稼働タイプですが、2階は固定。2階には120台のPCを設備した4教室と、LANケーブルと電源を網羅したPC対応教室を設置しています。また、地階と2階は教室の床をカーペット敷きにして静寂性を高めました。



写真上/工事中の床にLANケーブルと電源
写真下/防音教室のある地階も、床はカーペット

1F 北側入り口

階段とスロープで受付へ

北側入り口は、南側との高低差があるため階段とスロープになっています。案内サインや受付カウンター、テーブルと椅子のある待ち合いコーナーなどを設置予定。また、3月には建物西側に、南へ抜ける遊歩道も完成します。



この建物は吹き抜けやテラス、通常なら隠す配管・配線などを見せる場所が数多くあり、学生や保護者の方々が見ても面白いと思います。我々もやりがいがありました。(工事を担当した東急建設の木住野龍也さん)



使いやすいエレベーター、トイレ

エレベーターは4基になり、上下階への移動も便利に。また、車椅子、オストメイト対応の多機能トイレが1階~4階まであり、オムツ交換台も完備しました。



自然通風システムで快適に

各教室の窓には、空気環境に応じて手動開閉できる通風スリットがあります。室内の空気は廊下のダクトを通して屋外へ。いつも心地よく新鮮な空気の中で学修できます。



目で見てわかる配管・配線

廊下の天井はあえて配管・配線を露出させています。設備の取り換えが容易なほか、建築学科などの学生の勉強にもなります。照明は省電力のLEDを採用しました。

クラブ活動紹介 31

学科や学年を越えた仲間とともに切磋琢磨し、生涯にわたる友に出会える課外活動。学修や研究とともに、大学生活における大切な経験です。今回は世田谷キャンパスの「ハンドボール部」、横浜キャンパスの「フットサル部」、等々力キャンパスの「等々力祭運営委員会」の3団体の活動内容をご紹介します。

取材:2013年11月



顧問 山田 盛朗 (共通教育部 助教)
学生責任者 瀧本 将司 (経営システム工学科3年)
部員数 14名 (うち女子部員3名)

主な活動	
4月	関東学生ハンドボール春季リーグ戦
5月	関東学生ハンドボール春季リーグ戦
6月	新入部員歓迎会
8月	夏合宿
9月	関東学生ハンドボール秋期リーグ戦
10月	関東学生ハンドボール秋期リーグ戦
12月	納会
2月	冬合宿
3月	卒業生を送る会

関東学生リーグ3部での活躍をめざして!

ハンドボール部

新顧問の指導のもと、悲願だった3部昇格へ

ハンドボールとは、どんなスポーツなのでしょうか。

「バスケットボールとサッカーを足して2で割ったような感じです。屋内のコートを使い、7人1チームで行います」と、代表の瀧本将司君(経営システム工学科3年)。ドリブルやパスでボールをやりとりするのはバスケットと同じ。ゴールはサッカーの小型版ともいえるもので、ゴールキーパーが守ります。運動量が多く、ダイナミックでスピーディな動きは、見ているだけでも実に迫力があります。

部の歴史は古く、すでに55年くらいは経っているとのこと。近年の戦績では10年ほど前がいちばんの全盛期だったといいます。関東学生リーグは7部に分かれているのですが、当時は2部に所属。1部との入れ替え戦を経験したこともありましたが、ところがその後少しずつ戦績が低下してしまい、4年前には4部に降格へ。以来、3部への復帰は先輩から後輩へと受け継がれる悲願でした。

今年、前顧問の退任により、山田盛朗助教が顧問に就きました。筑波大学在学時は1部リーグで活躍した頼もしい経験者です。練習メニューは一気に、これまで以上にハードかつ緻密なものになりました。

「今年の夏合宿は、今までにないハードさでした。先生と一緒に山中湖



円陣を組んで皆の気持ちをひとつに!



秋季リーグ茨城戦。試合前の整列はちょっと緊張気味



キャプテン瀧本君の強烈なジャンプシュートに会場が沸く



夏合宿前のBBQで大盛り上がり

一周のランニングをしたり。基礎体力がつき、勝つためのコツをつかめて、本当にためになる合宿だったと感じます」(瀧本君)

合宿だけではありません。夏休みの間も、練習は週に5日。「先生も毎回来てくれたし、一緒に走っていると僕らより元気」と平賀舜君(機械工学科3年)。皆、目標が見えているだけに頑張れました。

学修と両立しながら、結束力でさらに上をめざす

そして、その成果が形にあらわれたのが9~10月に行われた秋期リーグ戦です。ひとつひとつ勝ちを重ねた都市大チームは、最終戦を33対25の点差で勝利して、みごと3部昇格を果たしたのです。

「本当にうれしくて、昇格が決まった瞬間に皆、号泣でした」と振り返るのは本田薫君(エネルギー化学科2年)。「ぎつかった練習も報われました」

今、活動は火・水・木・土曜に各3時間。高校でハンドボール部にいた人でも大学では学修との両立は困難と考えるためか、部員数がなかなか増えないのがもったの悩みだとか。しかし1年生部員に聞いてみると……。

「はじめのうちは両方やっていくのは大変かと思いましたが、体を動かすのがとにかく楽しいので、時間のメリハリをつけて、勉強と部活どちらも頑張っています」(吉田貴裕君・都市工学科1年)

「週4日の練習のうち、2日間は早い時間に終わりますし、バイトともうまく両立できていますよ」(岩知道優樹君・環境創生学科1年)

3人の女子マネージャーのうち1年生の2人は、高校では女子ハンドボールのプレーヤーだったそうです。

「現役の時に、自分だったらこうして欲しいと思ったことを、先回りしてするように心がけています」という嵯峨京香さん(児童学科1年)の言葉に、男子部員一同「本当に助かっています」と深くうなずきます。

ハンドボールの面白さは、「攻守が激しく入れ替わり、試合中はずっと疾走している感じ。全員が互いに力を尽くし、いいコンビネーションプレイが決まった時は、実に爽快です」と敦賀良晋君(建築学科3年)

これからはよいよ3部リーグ。「自分たちの力がどこまで通用するか、基礎を固めながら、一步ずつ上位をめざしていきます」(瀧本君)。

さらに上へ! チーム一丸となった挑戦は続きます。



部長の瀧本将司君(経営システム工学科3年)は「これから部員がもっと増えるといいですね」と期待。



「顧問の先生は年齢も近く先輩感覚。部員も皆、仲がいいですよ」と話す敦賀良晋君(建築学科3年)



「練習メニューは厳しいですが、楽しいです」と吉田貴裕君(都市工学科1年)「ずっと続けたいですね」



機械工学科3年の平賀舜君。「皆で食事に行ったり、夏休みにはBBQしたり。フレンドリーな部です」



「高校の部活と違い、自分から動かないと、やりがいがあります」と岩知道優樹君(環境創生学科1年)



「3部に上がって皆の意識や向上心も高まったのを感じます」と本田薫君(エネルギー化学科2年)



嵯峨京香さん(児童学科1年)は「昇格でマネージャーの仕事もレベルアップしなければ」と意欲的。



「入部した年に3部に上がれて本当にうれしかった」と言う山田成俊君(機械システム工学科1年)



建築学科1年の鶴田尚希君は「試験前にはオフを作ってくださいし、勉強としっかり両立できています」



前顧問の浅野先生を囲んで記念撮影



夏合宿中の試合をビデオ撮影している1年マネージャー。各選手の動きをチェック!



マネージャーと一緒にバックするキャプテン・副キャプテン



楽しいBBQ後は皆で集合写真



顧問 横井 利彰 (情報システム学科 教授)

学生責任者 安達 開人 (環境情報学科 3年)

部員数 35名 (うち女子部員9名)

主な活動	
5月	関東学生フットサルリーグ
6月	関東学生フットサルリーグ / 横浜祭
7月	関東学生フットサルリーグ
8月	東京都大学フットサルリーグ
9月	夏合宿 / 関東学生フットサルリーグ
10月	東京都大学フットサルリーグ / 関東学生フットサルリーグ
11月	関東学生フットサルリーグ
12月	関東学生フットサルリーグ
1月	関東学生フットサルリーグ
3月	学位授与式

横浜キャンパス唯一の体育会団体は他大学も一目置く強豪!

フットサル部

シーズン中の週末は試合ぞんまい!?

横浜キャンパスが誕生した1997年にサークルとして発足し、15年前に部活に昇格したフットサル部。同キャンパスに活動の主体を置く唯一の体育会団体であり、そのチーム“WOODS BEAR”は、約60チームが所属する関東大学フットサルリーグの1部にずっと君臨する強豪として知られています。ゆえにフットサルに本気で取り組みたいと考える世田谷や等々力キャンパスの学生たちの入部も多く、現在は約三分の一の部員がそうした他キャンパスからの参加です。「高校ではサッカー部でしたが、理工系の学部でサッカー部との両立は難しいと聞き、フットサルに方向転換。最初は同好会やサークルでもいいかなと考えましたが、根っからの体育会系なのか、どうせやるなら本格的にと思い、当部に入りました。“強い”という評判も決め手になりましたね」(佐藤博紀君・建築学科1年)

練習は毎週水曜日と土曜日に横浜キャンパス体育館裏の人工芝コートでみっちり。加えて週末は試合のために他大学まで遠征することが多く、部員たちはかなりハードなスケジュールをこなしています。「関東大学リーグは5月末から12月ですが、8月末から2月まで開催される東京都フットサルリーグにも今年度から新たに参入しました。ほかに全国規模のトーナメントにも参加しているので、年間30前後の公式戦に出場する計算になります。もちろん練習試合も頻繁にあるため、週末は常に関東のあちこちに遠征している感じ。移動費もバカにならず、みんな暇を見つけてはバイトで捻出しています」と語るのは部長の安達開人君(環境情報学科3年)。そう聞くと学業のほうがか心配になってきますが、「みんな成績優秀。だから部活に打ち



試合前に円陣組んで気合いを入れます



2013年度リーグ戦の対創価大学戦。終了間際に逆転勝利した歓喜の瞬間



2011年夏のフットサルトーナメント、全国大会優勝時の集合写真

込めるんだと言っておきます(笑)。先輩にも留年した人はいませんよ」とマネージャーの中村真吏奈さん(同4年)がフォロー。

ちなみに都市大フットサル部はマネージャー比率が高く、総部員数35名のうち9名がマネージャーです。それだけに試合ではベンチの声援が熱く、他チームからうらやましがられることも多いとか。「フットサルはコートが狭く、ベンチの雰囲気がチームの状態に反映されやすいんです。もともと部の雰囲気がよく、いつもたくさんのマネージャーが大きな声援を送ってくれるうちのチームは、戦っていて非常に心強いですね」(菅野瑛太君・環境情報学科2年)。「マネージャーはそんなにしょっちゅう試合に参加しなくてもいいという部もありますが、私はもっとチームにしっかり溶け込みたい性格。その点当部は選手とマネージャーがなにをやるのも一緒。同じ目標に向かった同志というか、私たちもチームと一緒に戦っているんです」(ルック理沙さん・情報メディア学科3年)。マネージャーを含め、まさにチーム一丸となって試合に臨んでいる都市大フットサル部。ここも強豪であり続けている理由のひとつかもしれません。

サッカー以上にハードでアグレッシブ

この記事をお読みの方には、フットサルは単にサッカーのコートを小さくしたものと考えている人も多いかもしれません。しかし部員たちは「まったく違うスポーツ」と口を揃えます。「サッカーよりも格段と展開が早く、そのときそのときの作戦の成果が目に見えてわかる。逆に言えば常に頭を使っていなければならないスポーツですが、そこもたまらなく面白い」(安達君)。また次期主将に任命された磯崎健太君(情報メディア学科2年)も、「コートの広いサッカーは、身体の大きさや、足の速さといった元からの身体能力がものを言うところがありますが、フットサルは練習に打ち込んだ分だけ試合に反映される。だから練習のしがいがあるんです」と語ります。

もちろん彼らが部活動に熱中するのは、こうしたフットサルの魅力に加え、部の雰囲気自体が素晴らしいからでしょう。「OB、OGを含めてとにかくみんな仲がよく、信頼できるさまざまな人と知り合うことができました。卒業してもこの繋がりは続くんだろうなと感じています」(ルックさん)。「フットサルとの向き合い方はもちろん、日頃の生活態度や言動など、先輩たちから非常に多くのことを学びました。これは体育会系団体の良さでしょうね。大袈裟に言えばこのチームの中で社会性まで培えたような気がします」(磯崎君)。

取材した時点では2013年度の戦績はあまりふるわないようでしたが、2009年の関東大学リーグの1部で優勝したほか、過去さまざまな大会で優勝経験を持つ都市大フットサル部。彼らのフットサルに賭ける熱い情熱と強固なチームワークをもってすれば、新たな優勝カップを獲得する日は近いはず。大いに期待しましょう。



思慮深く、人の気持ちを常に察しながら行動すると評判の安達開人君(環境情報学科3年)。まさに部長に適任な存在。



皆が“大人”と認める磯崎健太君(情報メディア学科2年)は、部の精神的支柱。フットサルへの取り組みも誰よりも真摯。



キーパーからフィールドプレイヤーに転身した菅野瑛太君(環境情報学科2年)。次期部長としてチームを牽引します。



佐藤博紀君(建築学科1年)は熱いハートを持つ男。高校のサッカー部では神奈川県準決勝まで進出しました。



笑顔と声援が何度もチームの窮地を救ったルック理沙さん(情報メディア学科3年)。部に欠かせないムードメーカーです。



気さくな性格から誰にも愛される中村真吏奈さん(環境情報学科4年)。彼女に憧れてマネージャーになった人も多いとか。



学園祭では毎年、フランクフルトの模擬店を出店。手さばきも堂に入っています



普段は横浜キャンパスにある人工芝のグラウンドで練習



2013年度フットサルーナメント会場にて記念撮影



顧問 河村 容治(都市生活学科 教授)
学生責任者 與那覇 盛弘(児童学科 3年)
部員数 20名(うち女子部員9人)

主な活動	
4月	スプリングフェスティバル
5月	横浜祭GWリハーサル/体育祭/横浜祭最終リハーサル
6月	横浜祭/基本計画会議
7月	ナイトラリー
8月	サマーキャンプ/玉川神社例大祭/夏合宿
9月	等々力祭夏リハーサル
10月	等々力祭秋リハーサル/実施計画会議
11月	等々力祭最終リハーサル/等々力祭/世田谷祭
12月	リーダーズ研修会/YC国際交流チャリティコンサート
2月	等々力小学校餅つき大会/スプリングキャンプ
3月	春合宿/学位授与式/横浜祭春リハーサル

多くの人に楽しんでもらえる学園祭をめざして **等々力祭運営委員会**

等々力祭への取り組みは毎年2月から

昨年11月23日(土)・24日(日)の両日、等々力キャンパスで、第5回東京都大学等々力祭が開催されました。学園祭として正式に認可されてから2回目。世田谷キャンパスの世田谷祭との同時開催は好天に恵まれ、多くの来場者を集めました。2つの学園祭は「みらいを、つくる。」を共通テーマとし、等々力キャンパステーマは「人も笑顔もつながりから」。この等々力祭を企画運営しているのが、等々力祭運営委員会です。

「毎年、本格的な始動は6月の基本計画会議からですが、キャンパステーマを決め、少しずつ動きはじめるのは、3年生が引退して代が変わる2月です。4月に新1年生が入る頃には、具体的な検討がスタートしています」と話すのは、代表の與那覇盛弘君(児童学科3年)。

実際に等々力祭を開催する時は、学生団体連合会や文化団体連合会、体育会、学科研究会連合などの組織が加わった、等々力祭実行委員会が主催しますが、その核になるのが運営委員会。與那覇君は、実行委員会委員長も務めました。また、他2キャンパスの学園祭運営委員会とも常に協力しあい、6月に横浜キャンパスで開催される横浜祭では当日に手伝うだけでなく、3度にわたるリハーサルにも参加します。

「3キャンパスの委員会が年間を通してゆるやかに協力しあって、共通テーマも決め、皆でいい学園祭にしていこうと活動しています」と、広報部長の中村桃子さん(児童学科3年)。

組織は企画部・管理部・広報部の3つの部からなります。企画部はその名の通り、企画を考える部門。2月と4月の会議で教職員にプレゼンし、8月の



4月には駒沢公園で新入生歓迎会&お花見で盛り上がります



横浜祭にも模擬店を出店



夏合宿の2日目は恒例の川遊び!(群馬県)

サマーキャンプで内容を決定するそうです。一方、管理部は、施設・衛生・レンタル・警備・研究室など12の担当に細かく分かれています。

管理部で物品とwebサイトを受け持った鈴木拓海君(児童学科3年)は「新入生の希望を聞きながら配属し、1人ずつ先輩と組んで仕事をおぼえてもらっています。開催1か月前くらいからは本当に忙しいですが、当日に向けて盛り上がっていくのは楽しいものですよ」

都市生活学科2年の遠藤遼也君は参加団体を担当しました。「模擬店を出す団体に説明会を開いたり資料を作ったり。食中毒などが起きないように保健所に確認して各団体を指導するのも、僕たちの役目です」

地域や他団体との「つながり」こそが大切

人数が少ない中、さまざまな内容をこなすのは苦労も多い半面、やりがいも大きいようです。「企画部の仕事も手伝ったりして、皆で知恵を絞りながらの学園祭。達成感があります」と語るのは管理部で物品・レンタルを担当した金子雄真君(児童学科1年)。また、初企画だった『リアル脱出ゲーム』について語ってくれたのは、管理部施設・衛生担当の土屋輝生君(児童学科1年)。「出した企画が実現し、学園祭当日は大勢のお客さまに参加していただけて、本当に楽しかったですね」と、目を輝かせます。

等々力祭運営委員会の活動は、3キャンパスの学園祭だけにはとどまりません。学生団体連合会主催のスプリングフェスティバル、体育会主催のナイトラリー、YC国際交流チャリティコンサートなど、学園祭で協力してくれる上部団体のイベントには必ず参加します。

「互いに持ちつ持たれつ。良い関係を作っています」(中村さん)

そして地域の催しでは、玉川神社例大祭で神輿を担ぎ、等々力小学校の餅つき大会ではお手伝いを。

「等々力小学校おやじの会の方々には毎年、学園祭で模擬店を出していただいています。こうした近隣の皆様とのつながりは、先輩たちから引き継いできた財産。大切にしていきたいです」(與那覇君)

今年のテーマも、こうした多くのつながりがあってこそ学園祭が開催でき、皆の笑顔に結びつくという思いをこめたものでした。

1年中、多忙な運営委員会ですが、息抜きもいろいろ。2泊3日の夏合宿では、2日目は思い切り川遊びを楽しむのが常だとか。次年度の等々力祭に向けた活動の開始ももうすぐ。「人数が増えれば、面白い企画もさらに増やせます。新入生の加入を待っています!」と声を揃える皆さんでした。



「それぞれの個性を出せる、楽しい活動をめざしています」と話す会長の與那覇盛弘君(児童学科3年)



「ひとつの目標に向かって一步一步取り組んでいく楽しさがあります」と鈴木拓海君(児童学科3年)



広報部長の中村桃子さん(児童学科3年)は「先輩後輩の区別なく、対等な人間関係を築ける部です」



遠藤遼也君(都市生活学科2年)は「多くの方が来てくださる学園祭。互いの連携と責任感が大事です」



「先輩とのやりとりも楽しいです。またぜひいい企画を考えたいですね」と土屋輝生君(児童学科1年)



「学園祭の力になりたい」と入部した金子雄真君(児童学科1年)。「業者さんとの折衝もいい経験でした」



7月に行われたナイトラリー。江ノ島までの長〜い道のりも達成感でいっぱい!



9月に行った夏合宿の宿前で



上手できるかな?



等々力祭本番に向けてリハーサル中

第84回 世田谷祭

世田谷祭の可能性

第84回東京都市大学世田谷祭 実行委員長 高瀬 寛希
工学部 機械工学科 3年

今年度の第84回東京都市大学世田谷祭は、11月23日・24日の2日間開催されました。昨年度同様、東京都市大学学園祭共通テーマ「みらいを、つくる。」のもとに、今年は世田谷祭キャンパステーマ「新しい可能性に出会う」を掲げ、ご来場された方のまだ出会ってない自分を見つけて頂ける学園祭を目指して、1年間実行委員会は切磋琢磨し活動してきました。

企業に委託せず、学生の手で作上げた「TCUイルミネーション」や在学生の活気を見せる「都市大のスポーツ祭り」、そしてNHKと協力した「キャンパス寄席」等新しい企画を行い、世田谷祭としても新しい可能性に出会えたと思います。

世田谷祭当日は2日間とも天候に恵まれ、1日目の中部大学総合工学研究所の武田邦彦教授を招いた「著名人トークショー」や前述しました2日目のNHKのラジオ番組「キャンパス寄席」の公開収録など、教室に入りきれないほど多くのお客様にご来場頂きました。また、新しく3号館前の広場にも模擬店を設けたことで昨年度以上に活気づき、世田谷キャンパス全体が大いに盛り上がり大成功を収めることが出来ました。

なかなか上手くいかないものもありましたが、来年に繋がるものが残せたのではないかと思います。来年度、後輩たちが今年に負けないうぐわしの学園祭を作り上げてくれることを期待します。更なる発展を遂げた世田谷祭を今から楽しみにして下さい。

最後になりましたが、第84回東京都市大学世田谷祭を開催するにあたりご尽力を賜りました教職員の皆様、近隣にお住まいの皆様、そして関係団体の方々へ厚く御礼申し上げます。



第5回 等々力祭

人も笑顔もつながりから

第5回東京都市大学等々力祭 実行委員長 與那覇 盛弘
人間科学部 児童学科 3年

平成25年11月23日・24日の2日間に、第5回東京都市大学等々力祭が開催されました。今年度も世田谷祭との同日開催であり、3キャンパスの学園祭共通テーマも昨年度から引き続き「みらいを、つくる。」を掲げました。その共通テーマのもとに、等々力祭キャンパステーマ「人も笑顔もつながりから」を設定しました。このテーマには「大学関係者」「学生」そして「お客様」といった等々力祭に関わるすべての方々がこの等々力祭という場によってつながりを持ち、そのつながりによってすべての人々に笑顔になっていただきたい、という願いが込められています。人と人とのつながりが希薄になりつつある現代において、この等々力祭を東京都市大学と社会とをつなぐ架け橋となるような学園祭とすることを目指し、日々活動してきました。

今年度の等々力祭は、松波直秀氏制作の「プロジェクションマッピング」、パントマイム集団カンジヤママインによるパントマイムショー「おしゃべりなパントマイム」、ホスピタルクラウンの大棟耕氏によるテーマ講演会「めいくあすまいる〜クラウンと楽しい時間〜」の3つの目玉企画を軸にし、さらに「Kidsパーク」、「バルーンリリース」といった等々力祭恒例の企画やステージ企画も催され、いずれも多くのお客様にお越しいただき、盛況のままに当日を終えることが出来ました。以前よりも在学生の参加者も増え、5回目を迎えてようやく浸透し、等々力祭がキャンパスを中心として周辺地域に、より根付いた存在となっていく兆しを見る事ができたのではないかと思います。まさにテーマの通り、人と人との「つながり」を感じられる学園祭にすることができました。

これもひとえに、皆様からのご協力、そして部員一人ひとりの頑張りがあったからだと思います。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今年度の東京都市大学の学園祭はすべて終了しましたが、既に来年に向けて動き始めております。次年度以降も等々力祭、ならびに世田谷祭・横浜祭をどうぞよろしくお願致します。



課外活動短評

- 新聞会……東京都市大学付属小学校「まめ記者クラブ」に参加する児童を対象に、新聞製作の補助活動を行った。
- 電気電子研究会……第43回6m AND DOWNコンテスト 電話部門マルチオポール/バンドPMA部門において、関東2位、全国3位の結果を修めた。
- ハンドボール部……平成25年度関東学生ハンドボール秋季リーグ戦(7部中4部)において1位。3部昇格を果たし、瀧本将司君が得点王を獲得。
- 鉄道研究部……東京都市大学と室蘭工業大学との連携事業(課外活動)において、室蘭工業大学の鉄道研究会と交流を深めた。
- 弓道部……全関東学生弓道選手権大会(個人男子)において、平野拓也君が準優勝。
- 剣道部……全日本学生剣道選手権大会において池田光聖君が2回戦進出を果たす。
- 硬式野球部……平成25年度東都大学野球連盟秋季リーグ戦(4部)にて小野雅都君が首位打者を獲得。

- 水泳部……第86回関東学生選手権水泳競技大会50Fr決勝にて加賀大輝君が3位。
- 空手道部……第33回SKIF全国空手道選手権大会一般男子個人組手(中量級)にて内田大貴君が準優勝。同じく一般男子個人組手(重量級)にて星野貴大君が準優勝。池内岳仁君が一般男子有級個人組手にて優勝、一般男子有級個人型にて準優勝。櫻井健汰君が一般男子有級個人組手にて3位。
- モーターサイクル部……キャンパスオフロードミーティング全国大会第3戦、キャンパスBにて増田成輝君が1位。
- 準硬式野球部……平成25年度新関東準硬式野球連盟秋季リーグ戦(1部)にてベストナイン一塁手に荻原生吹君、二塁手に重富健志君が選ばれる。
- 陸上競技部……第45回関東理工系学生対校陸上競技大会円盤投げにて山村英穂君が2位。
- 柔道部……第54回全日本理工科学生柔道優勝大会にて根本久史君が敢闘賞。

バンドフェスティバル

十人十色、唯一無二の バンドフェスティバル

平成25年度 文化団体連合会 本部長 松原 彩音
知識工学部 情報科学科 3年

平成25年10月12日(土)東京都渋谷区LIVE STAGE GUILTYにおいて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。

『バンフェス』の愛称で親しまれ、年に一度の大きな行事として定着しつつあるバンドフェスティバルで、当日は150名近い方々にご来場頂き、会場内は身動きしづらい程の大盛況となりました。

バンドフェスティバルは昨年度に引き続き、文化団体連合会所属の全6軽音楽団体が夏休みの合宿、日頃の練習の成果を発揮すると共に、キャンパスもジャンルも異なる各軽音楽団体の交流を深めることで、更なる演奏技術の向上を目的としています。

本年度は、世田谷キャンパス所属のフォークソングクラブ、ハワイアンクラブ、パチレーセブン、横浜キャンパス所属の音楽団体PLAMから各2バンド、軽音楽団体スナイパーズ、ウエスタンクラブから各1バンド、計10バンドが出場し、演奏しました。出場したバンドは各軽音楽団体を代表するバンドということもあり、高い演奏技術、ステージパフォーマンスで来場者を魅了しました。

ジャズ、POP、メタルなど様々なジャンルが一堂に会した今回のバンドフェスティバルは出場したバンドのメンバーだけではなく、来場者の皆様にも楽しんで頂けたのではないかと思います。また、学年、学科、キャンパスを越え、音楽を通し新しい繋がりが生まれたのではないかと思います。

大きな事故やトラブルもなく2013年バンドフェスティバルを無事終了できたこと、また協力して頂いた沢山の方々には言葉では言い尽くせない程感謝しております。ありがとうございました。



事務局 便り

後援会会員の皆様には日頃から大学行事、課外活動に対してご理解、ご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。春先のフレッシュャーズ・キャンプを始め、体育祭、バンドフェスティバル、学園祭、学生キャリア活動など、学生の正課外活動をサポートする後援会は、本学学生の大学生活および将来へのキャリア形成に重要な役割を果たしています。また、後援会と二人三脚でこれらの活動を指導、監督する東京都市大学学生部は、学生が快適に過ごすことのできるキャンパス環境を実現するため、厚生、課外活動、生活指導、留学生と分野を分けて教職員が一丸となり日々取り込んでいます。後援会会員の皆様と直に顔を合わせた意見交換の場として

「大学と保護者との連絡会」が、毎年秋に東京会場以外にも全国の主要地方都市にて開催されます。私も昨年9月に地方で開催された連絡会に出席し、多くの保護者の方々と有意義な意見交換を行なうことができました。大学の近況(学修、生活、就職)を紹介した上、各学年の保護者の方々と意見交換をして一方通行でないコミュニケーションを取ることができました。特に就職への関心が高く、大学の就職支援プログラムの説明と、OB組織である校友会の支部役員からUターン就職への取組みなどの説明もあり、ご理解のお役に立てたと思います。

これからも社会のために貢献する人材を輩出するように学生の教育、指導を行なっていく所存でございますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



世田谷キャンパス副学生部長
環境学部
環境マネジメント学科教授
郭 偉宏

TAKE ACTION!

ボランティアを通じて 社会に貢献

平成25年度 学生団体連合会主催 被災地ボランティア 黒田 真由
TAKE ACTION代表 人間科学部 児童学科 3年

平成25年9月6日(金)～9月10日(火)、東日本大震災の被災地、東北地方でのボランティア、第二回TAKE ACTION! を行いました。昨年度の第一回TAKE ACTION! 参加者の有志が中心となり、今年度のスタッフとして企画致しました。今年度の現地活動は主に、岩手県盛岡市での水害復旧支援や大槌町「まごころたすけあいセンター」の上棟式事前準備及び当日の参加、また岩手県と宮城県の沿岸部で視察を行い、大船渡市では大船渡津波伝承館の方に当時のお話や防災について伺いました。

この度、私たちが参加させていただいた、大槌町「まごころたすけあいセンター」で展開される活動の目的は、雇用創出や第六次産業事業、コミュニティづくり、中間就労支援、総合相談支援などでした。昨年度はガレキ撤去作業に参加しましたが、現地の状況は徐々に確実に変化し、まちづくり活動にシフトしています。仮設住宅にお住まいの方々と共に上棟式を楽しみ、直接会話を交わす貴重な経験をさせていただきました。その中で現地の皆さんから、感謝のお言葉や大槌町にまた来て欲しいとのお声をいただきました。私たちは人と人のつながりについて改めて考え、今後の復興に一番大切なことを学びました。

今年度も本企画を実現できたのは、NPO法人遠野まごころネット様、岩手大学E-code顧問の五味先生、大船渡津波伝承館や本学教職員の方々、運転手の方々、学生参加者の皆さんのおかげとっております。多大なるご尽力をいただき、誠にありがとうございました。この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

まだ二回の企画ではありますが、毎年の参加応募者数から既に来年度の開催が予想されます。また、TAKE ACTION! はこれから更に視野を広げ、都市大生がボランティアを通じて社会で幅広く貢献するためにも、さまざまなボランティア企画を行い、都市大をより活性化していきたいと思っております。皆様も是非一緒に参加してみませんか。スタッフ一同心よりお待ちしております。



◆◆平成25年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成25年度の「大学と保護者との連絡会」は9月7日(土)から始まり、最終日の10月19日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月14日(土)	札幌全日空ホテル	11
仙台	9月15日(日)	江陽ランドホテル	17
郡山	9月14日(土)	チサンホテル郡山	8
宇都宮	9月14日(土)	チサンホテル宇都宮	29
さいたま	9月14日(土)	ラフレさいたま	36
水戸	9月14日(土)	三の丸ホテル	33
高崎	9月7日(土)	ホテルメトロポリタン高崎	17
新潟	9月8日(日)	新潟東急イン	12
世田谷	10月19日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	840
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	145
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	318
甲府	9月7日(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	8
長野	9月14日(土)	ホテルJALシティ長野	19
金沢	9月7日(土)	金沢都ホテル	10
沼津	9月7日(土)	沼津キャッスルホテル	39
静岡	9月8日(日)	ホテルアソシア静岡	43
浜松	9月7日(土)	オークラアクトシティホテル浜松	31
名古屋	9月8日(日)	名古屋栄東急イン	27
広島	9月7日(土)	リーガロイヤルホテル広島	13
福岡	9月8日(日)	八百治博多ホテル	17
合計			1,673

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	14	13
青森	2	1
岩手	1	1
宮城	15	11
秋田	3	3
山形	6	5
福島	11	15
茨城	72	67
栃木	46	50
群馬	26	31
埼玉	103	111
千葉	63	71
東京	347	331
神奈川	676	662
新潟	14	14
富山	2	2
石川	7	2
福井	2	3
山梨	20	26
長野	29	28
岐阜	4	6
静岡	141	136
愛知	18	15
三重	6	6
滋賀	0	0
京都	1	1
大阪	5	0
兵庫	1	4
奈良	0	1
和歌山	1	1
鳥取	1	2
島根	0	0
岡山	2	1
広島	9	10
山口	5	5
徳島	0	0
香川	2	0
愛媛	3	0
高知	0	1
福岡	10	11
佐賀	2	1
長崎	0	0
熊本	0	1
大分	1	4
宮崎	0	4
鹿児島	2	2
沖縄	0	0
合計	1,673	1,659

TCU-COM
2014.January

no.
49

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp